

1. 会社概要（基本情報）

会社名	東海東京証券株式会社	
所在地	住所	〒450-6212 愛知県名古屋市中村区名駅四丁目7番1号
	電話	052-527-1111（代表）
	H P アドレス	https://www.tokaitokyo.co.jp/
代表者	代表取締役社長 北川 尚子	
金融商品取引業登録番号	東海財務局長（金商）第140号	
登録年月日	2010/4/1	
協会会員番号	052-00226	
業務開始年月	2024/1/9	
資本金	60 億円	
受付窓口	運用アドバイザリー部 竹村 泰志	
電話	03-3517-7817	
E-mail アドレス	Yasushi_Takemura@tokaitokyo.co.jp	

2. 運用の特色（投資哲学、運用スタイル等）

（1）当社の投資一任運用（ポートフォリオ運用）の考え方 多様化するお客様の運用ニーズに応えるため、お客様が求める要件（目標リターン、リスク許容度、投資制約等）をよく理解したうえでポートフォリオを構築します。 ポートフォリオ構築は当社の専任ストラテジストによる経済・金融見通しをベースとし、必要に応じて機動的なアセットアロケーションを行うことで、市場変化に対応しつつ中長期的に安定したパフォーマンスを目指します。
（2）運用の特色 ①ポートフォリオ構築にあたっては、お客様の希望される期待リターンや投資対象、配当、リスクの考え方などに応じてオーダーメイドによる策定を行います。その際、策定するポートフォリオは、現時点における当社の市場見通しに基づきます。 ②幅広い投資資産（株式、債券と相関性が低い商品、ヘッジファンド等）に分散投資することで、分散効果によるリスク抑制を高め、安定した運用収益獲得を目指します。 ③各資産クラスの基本構成割合に基づき乖離許容幅の範囲内で機動的な運用を行います。なお、市場環境の見通しが悪化した場合、資産を一時的に現金化することによって資産構成比率が乖離許容幅を超えて0%となる場合もあります。

3. 投資に関する意思決定プロセス

(1) 契約締結時

目的、運用目標、運用方針（資産構成割合・投資対象・流動性規制・運用開始時における投資資産構成の構築・リバランス・パフォーマンス下落時の対応・報告事項など）を明記した運用ガイドラインを設定します。

(2) 運用開始

①定例レビュー会議

当社の専任ストラテジストによる経済・金融見通しに基づき、各運用担当者は投資行動案を作成します。

②運用計画策定

定例レビュー会議を受けて作成した投資行動案に基づき、各お客様の運用ガイドラインに沿って、運用計画書を作成します。

③投資行動

各運用担当者は運用計画書に沿って投資行動を行います。なお、マーケット状況が変化した場合は、運用計画書に変更の旨を記載し、部内にて共有します。

(3) パフォーマンスレビューとリスク管理

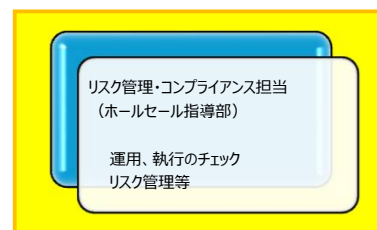
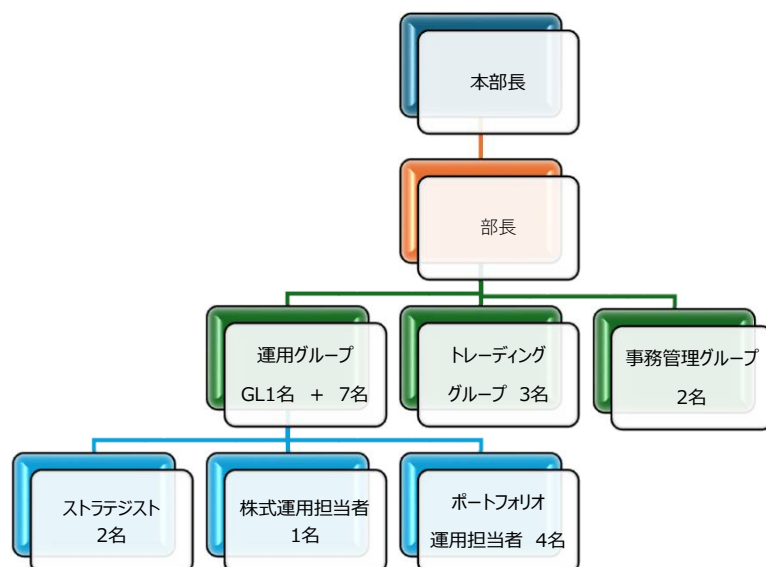
①毎月、パフォーマンスレビューと見通しに基づくアセットアロケーションをモニタリングし、部長宛てに報告します。

②パフォーマンス、及び、ポジションの管理を行い、当初想定されたリスク量を超えないよう管理を徹底します。

4. 運用体制

プロフェッショナルアドバイザー本部運用アドバイザー部は、利益相反等の観点から、証券業務との情報隔離が明確になされており、独立した運用体制が確保されています。そのため、独自の経済・金融見通し（ハウスビュー）を持ち、独自の投資判断から投資行動を行います。また、部内においては、運用担当者と執行担当者を分離し、お客様と取り決めた運用ガイドライン通りに運用がなされているかについては、独立した部署であるホールセール指導部がチェックを行います。

<組織図>



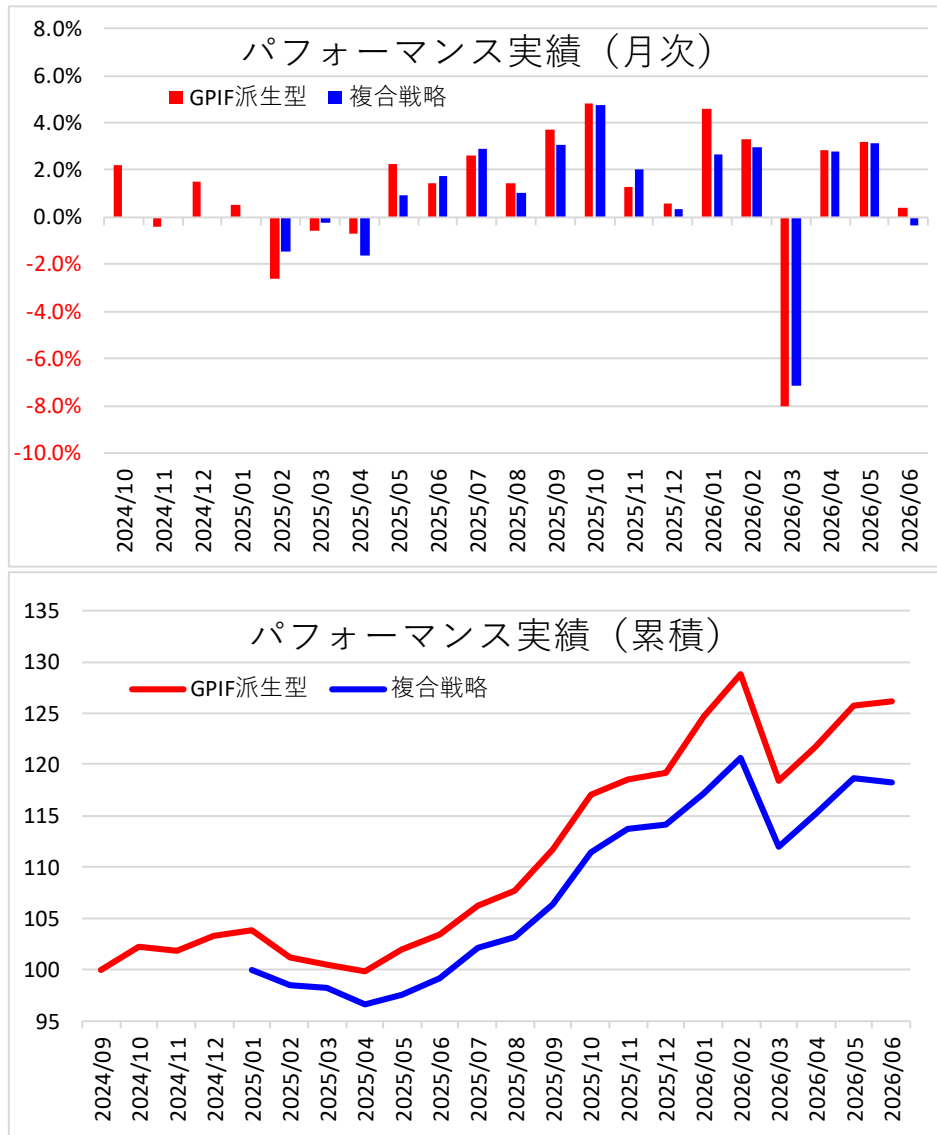
※2026年6月末時点

5. 運用金額

契約資産額32.35億円（2026年6月末時点）

6. 運用実績

2024年6月より契約資産額5億円でスタート。2026年6月末時点で32.35億円を運用中です。



- ・ポート構築期間中（キャッシュ比率 50%以上）は除外、投資運用報酬控除前
- ・パフォーマンスは月次ベースで計算（GPIF派生型は10口座の平均、複合戦略は2口座の平均）
- ・累積は、GPIF派生型は2024/9末を100として、また、複合戦略は2025/1末を100として指数化

投資運用報酬は、以下【固定報酬型】 【成功報酬型】 のいずれかをいただきます。

【固定報酬型】

運用資産の時価評価額 × 上限1.50%

【成功報酬型】

固定報酬部分（運用資産の時価評価額 × 上限0.50%） + 成功報酬部分（HWMの超過額 × 上限20.00%）

※HWM（ハイウォーターマーク）とは、成功報酬計算評価額から当該契約期間に係る成功報酬を差し引いた額のうち、最も高い運用資産額のことを指します。なお、運用開始時のHWMは契約している金額となります。成功報酬計算時では、時価評価額がHWMを上回る部分を評価益とみなし、成功報酬計算の対象金額とします。なお、HWMは運用期間中、制限なく引き継がれます。

※投資運用報酬の他にお客様が負担する費用がある場合には、投資運用報酬とは明確に区別します。例えば、運用対象となる投資信託を通じて間接的に負担する信託報酬や信託財産留保額、その他費用が発生します。個々の投資信託によりその額は異なり、また投資対象となる投資信託が変更・追加されることもありますので事前にその水準を表示することができません。詳しくは「投資一任運用サービス 運用対象投資信託一覧」でご確認ください。

※報酬額やその他の費用には、すべて別途消費税がかかります。

7. アピールポイント

(1) ポートフォリオ運用

① オーダーメイドによるポートフォリオ運用

昨今、市場環境の複雑化が進み、お客様の運用ニーズも多様化してきていることから、ゴールベース型アプローチのポートフォリオ提案を求められることが多くなってきております。

当社が提供する「ポートフォリオ運用」では、各資産の期待リターンに経済・金融見通しを反映した上で、お客様のニーズに合わせた投資効率の高い資産配分による分散投資を行い、高パフォーマンスの実現を目指します。

② 戦略的資産配分、戦術的資産配分の組み合わせによる運用

中長期の見通しによる戦略的資産配分（SAA）と短期的な見通しや市場動向（トレンド）把握による戦術的資産配分（TAA）を組み合わせ、下落を抑えつつ収益機会をとらえる運用をご提供します。

③ 銘柄選択の多様性

中長期にわたり、リスクを抑え、安定したパフォーマンスを享受できるよう銘柄選択を行います。

一般的に、ポートフォリオ運用は、資産の分散効果により、リスクを低減し、下落リスクを抑える効果があります。そのため、分散効果が高い資産（相関係数が低い資産）を複数組み入れる必要があるため、債券や株式との相関が低い貴金属やエネルギーなどの商品、ヘッジファンド、インフラファンド、プライベートエクイティファンドなども投資対象候補とします。

④ 独自定量モデルの活用

ポートフォリオ構築は、平均・分散法に基づく最適化手法を利用しますが、利用するデータによって結果は異なってきます。当社では各資産の期待リターン、予想リスク、各資産間の相関係数を独自に調整したデータを用いて算出します。特に、期待リターンについては、経験豊富な専任ストラテジストの将来見通しも利用します。

各資産の下落リスクの把握については、定量モデルを活用し戦術的資産配分（TAA）に取り入れます。例えば、株の下落リスク等の把握については、ファイナンス論文等で有効な定量モデル（リスク集中度合いの測定、市場心理の状態分析など）も利用しております。

(2) 当社の投資一任運用

当社は、専任の運用担当者が国内外の株式・債券等の個別銘柄も投資対象としてオーダーメイドで運用する「東海東京投資一任運用サービス」(以下「本サービス」)の取扱いを開始しております。

本サービスでは、「ポートフォリオ運用」と「個別銘柄運用」をご用意しており、当社がお客様との投資一任契約に基づいて資産の運用・管理を総合的に行います。

「ポートフォリオ運用」は上記ご紹介の通りですが、「個別銘柄運用」では、「通常のロング&ショート戦略」、「同一業種間でのペア・トレード戦略」、「先物を利用したマーケットニュートラル戦略」を機動的に組み合わせ、株式市場変動の影響を軽減しつつ、安定的なプラスのリターンを目指します。

お客様の様々な運用ニーズに対応できるようにオーダーメイドで運用手法を構築し、お客様の目的を達成するため、投資一任運用の充実したサービス提供に努めてまいります。